



特別展「大恐竜展—ゴビ砂漠の驚異」開催のお知らせ

国立科学博物館（館長 林良博）では、平成25年10月26日(土)から平成26年2月23日(日)まで、特別展「大恐竜展—ゴビ砂漠の驚異」を開催します。

つきましては広報について格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。詳しくは、別添資料をご覧ください。

◆特別展「大恐竜展—ゴビ砂漠の驚異」

【会期】平成25年10月26日(土)～平成26年2月23日(日)

【会場】国立科学博物館（東京都台東区上野公園7-20）

【主催】国立科学博物館、モンゴル科学アカデミー古生物学センター、読売新聞社

<本件担当者>

独立行政法人 国立科学博物館

事業推進部 企画展示課長 吉野 英男

〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20

TEL:03-3822-0111/FAX:03-5814-9899

<取材に関するお問い合わせ先>

「大恐竜展—ゴビ砂漠の驚異」広報事務局

担当：池袋、高橋

TEL:03-6821-9100/FAX:03-3499-0958



国立科学博物館（東京・上野公園）では、2013年10月26日（土）～2014年2月23日（日）の間、「大恐竜展—ゴビ砂漠の驚異」（主催：国立科学博物館、モンゴル科学アカデミー古生物学センター、読売新聞社）を開催いたします。

本展では、世界有数の恐竜化石産地として知られるモンゴル・ゴビ砂漠で発掘された、非常に良質な実物化石を、白亜紀前期から末期へと時代順に展示します。展示標本は100点以上で、その約9割は実物化石で占められています。今回は、その一部をご紹介します。

【目次】

本展のみどころ

主な展示標本

各章の紹介

公式キャラクター登場

開催概要

—本リリースに関するお問い合わせ先—

「大恐竜展—ゴビ砂漠の驚異」広報事務局（ユース・プランニング センター内）担当／池袋・高橋

〒150-8551 東京都渋谷区渋谷1-3-9 東海堂渋谷ビル3F

TEL：03-6821-9100 FAX：03-3499-0958 E-mail：daikyoryu@ypcpr.com



①タルボサウルス 生体復元図

本展のみどころ

① 希少！化石の「実物」率＝約90%

本展で展示される標本に占める実物化石の割合は実に約90%。ゴビ砂漠では細部までよく保存され、骨と骨がつながった状態で保存されたすばらしい標本がたくさん見つかっています。その実物の化石が持つ魅力にぜひ触れてください。

② モンゴル・ゴビ砂漠の宝が一堂に！

本展は、モンゴル・ゴビ砂漠の実物恐竜化石を一堂に見ることができる、極めて貴重な機会となります。これほどの規模での公開は、モンゴル国内でもこれまで実施されたことはありませんでした。また、新種を提唱する基となる標本「ホロタイプ標本」が約10点展示される、国際的にも稀に見る展覧会です。

③ タルボサウルスの子どもの化石から考える恐竜の成長

全長2m、推定年齢2～3才のタルボサウルスの子どもの実物化石やそれをもとに復元した全身骨格が展示されます。ティラノサウルス類の子どもの化石としては、世界一の保存状態だとされています。本展ではこの標本を研究することで、明らかになったティラノサウルス類の成長についての新しい知見を紹介します。

④ タルボサウルス、サウロロフスの実物全身骨格の共演

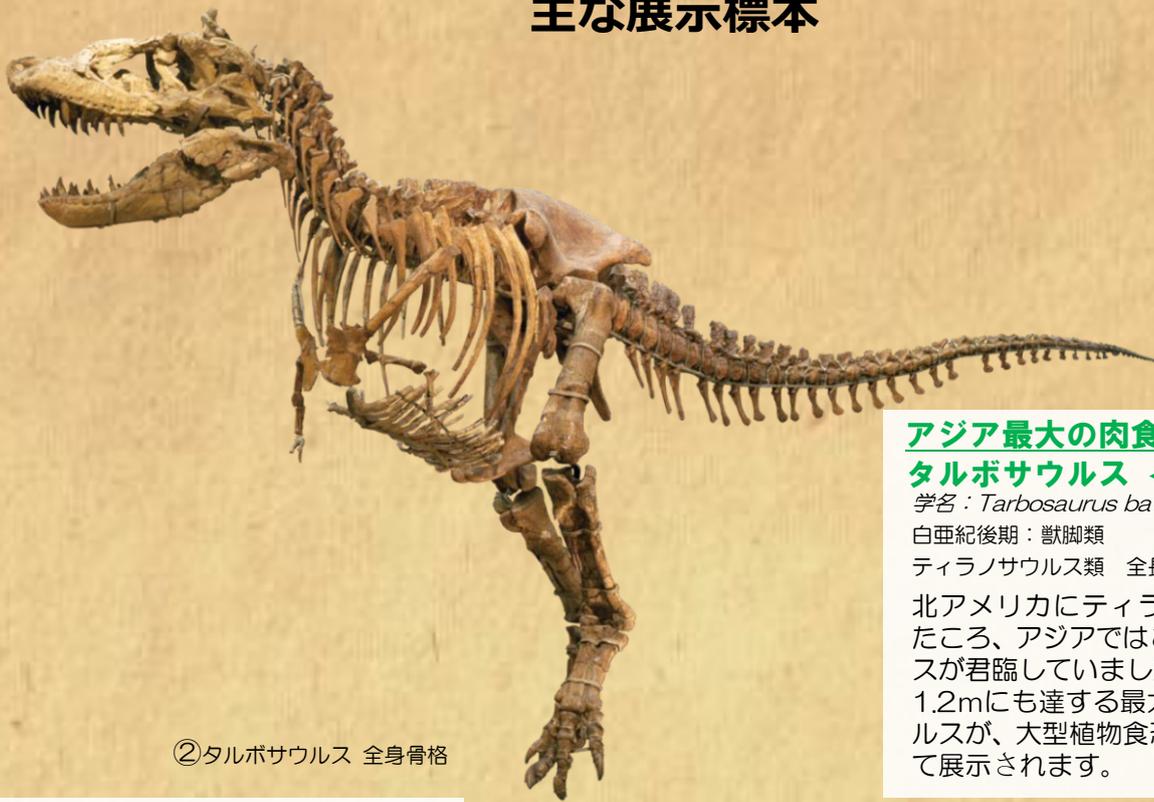
約7000万年前に生きた大型の肉食恐竜タルボサウルスと植物食恐竜サウロロフスの骨格を展示します。さらに当時最大の植物食恐竜オピストコエリカウディアも対峙。いずれも10m以上の大きさで、実物ならではの迫力、存在感を感じていただけます。

また、タルボサウルスがサウロロフスを食べていた証拠となる標本も展示されます。さらに、この時代にはより小型の恐竜も多様でした。これらの小型恐竜も含め、ゴビ砂漠における白亜紀末期の恐竜の多様性もご紹介します。

⑤ モンゴル化石でたどる恐竜から鳥への進化

モンゴルの白亜紀後期の地層からは、様々な獣脚類が発見されています。一見すると鳥のように見える獣脚類がそれほど鳥類には近縁でなかったりすることなどが明らかになってきました。鳥類への進化を理解するために非常に重要な実物化石を展示します。

主な展示標本



②タルボサウルス 全身骨格

アジア最大の肉食恐竜！

タルボサウルス <実物化石>

学名： *Tarbosaurus bataar*

白亜紀後期：獣脚類

ティラノサウルス類 全長：約 10m

北アメリカにティラノサウルスがいたころ、アジアではこのタルボサウルスが君臨していました。頭だけで長さ1.2mにも達する最大級のタルボサウルスが、大型植物食恐竜たちと対峙して展示されます。

恐竜の成長の謎に迫る！

タルボサウルス(子ども)

<実物化石 ※復元骨格は複製>

学名： *Tarbosaurus bataar*

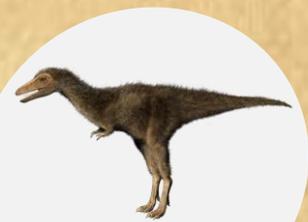
白亜紀後期：獣脚類

ティラノサウルス類 全身骨格の全長：約 2m

タルボサウルスの2～3歳と推定される標本で、全身の70%が残っていた、ティラノサウルス類全体の中でも最も良い保存状態の子どもの化石です。おとなのタルボサウルスとの比較にもとづき、その成長を科学します。



③タルボサウルス(子ども) 頭骨



④タルボサウルス(子ども) 生体復元図



⑤プロトケラトプスの赤ちゃん 15体の集団化石



復元作業中

プロトケラトプスの赤ちゃん 15体の集団化石 <実物化石>

学名： *Protoceratops andrewsi*

白亜紀後期：鳥盤類 角竜類

ケラトプス類

小さくてもろい恐竜の赤ちゃんの骨が化石として保存されることはまれなのにも関わらず、この標本は、15体が一緒に発見されたものです。プロトケラトプスはたくさんの子を産んで、少しでも多くの子を生き残らせる子育て戦略をとっていたことが示唆されます。

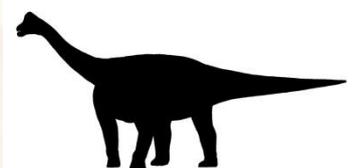
世界で初めての実物化石による全身骨格復元中 オピストコエリカウディア <実物化石>

学名： *Opisthocoelicaudia skarzynskii*

白亜紀後期：竜脚類

ティタノサウルス類 推定全長：約 12～14m

1977年、ポーランドの研究者によって、尾椎の特徴から記載・命名された新属新種。ホロタイプ標本がすべて来日、展示されるのは初めて。ティタノサウルス類は白亜紀に繁栄しましたが、完全な骨格はほとんど知られておらず竜脚類のなかでも謎が多いグループです。オピストコエリカウディアは、ティタノサウルス類に特徴的な前あしや骨盤の形態がほぼ完全に保存されている重要な種です。本展のために、実物化石による全身骨格を世界で初めて復元中です。



⑥オピストコエリカウディア

各章の紹介

モンゴル・ゴビ砂漠は、1922年から1930年にかけて、アメリカのアンドリュース調査隊が、数々の発掘をしたことで、世界有数の恐竜化石産地として知られることになりました。本展ではゴビ砂漠を東から西へ発掘地をめぐり、白亜紀前期から後期へと順を追って、恐竜の化石標本を紹介します。発掘隊の一員になったつもりで、恐竜との出会いの旅に出かけましょう。

1

プロローグ：恐竜発掘地としてのゴビ

アンドリュース調査隊の遠征による恐竜化石発見以来、保存状態の良い化石が多数見つかることで知れ渡ることになったゴビ砂漠。プロローグでは、アンドリュース調査隊に関する資料や、ゴビ砂漠で見つかった、特に状態の良い化石などを展示し、今日でも研究者を魅了するその魅力を紹介します。

2

恐竜のいた時代

恐竜が生息していた時代を、年代別に一覧で紹介します。

3

プシッタコサウルスたちの時代 (白亜紀前期 約1億1000万年前)

草原地帯に白亜紀前期の地層が露出している、ゴビの北東部の茶色い丘という意味の発掘地「フレンドウフ」。ここで見つかった、原始的な角竜のなかまプシッタコサウルスや、オルニトミモサウルス類(ダチョウ型恐竜)の中で最も原始的なハルピミムスの全身骨格などを展示します。



⑦プシッタコサウルス 生体復元図 ⑧プシッタコサウルス 全身骨格

学名: *Psittacosaurus mongoliensis*

4

ガルディミムスたちの時代 (白亜紀後期 約9000万年前)

白亜紀後期に入ると、ガルディミムスなど歯を失い植物食に適応したオルニソミムス類が多様化しました。また、鳥脚類のなかでも、より効率的な植物食への適応を見せるハドロサウルス類が出てきました。ゴビ東部の「バイシンツァフ」(「家の形の崖」という意味のモンゴル語)で発見された同時代の化石を紹介します。



⑨ガルディミムス生体復元図 ⑩ガルディミムス 全身骨格
学名: *Garudimimus brevipes*

モンゴル・ゴビ砂漠



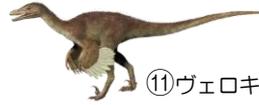
5

ヴェロキラプトルとプロトケラトプスたちの時代 (白亜紀後期 約8000万年前)

ゴビ中央部の「豊かな台地」という意味の「ツグリキンシレ」に広がる地層からは、小型の角竜のプロトケラトプスや、ヴェロキラプトルの化石が多く見つかっています。今回展示するヴェロキラプトルの化石の胃の中には、最後に食べたエサの骨まで化石になって残っていました。

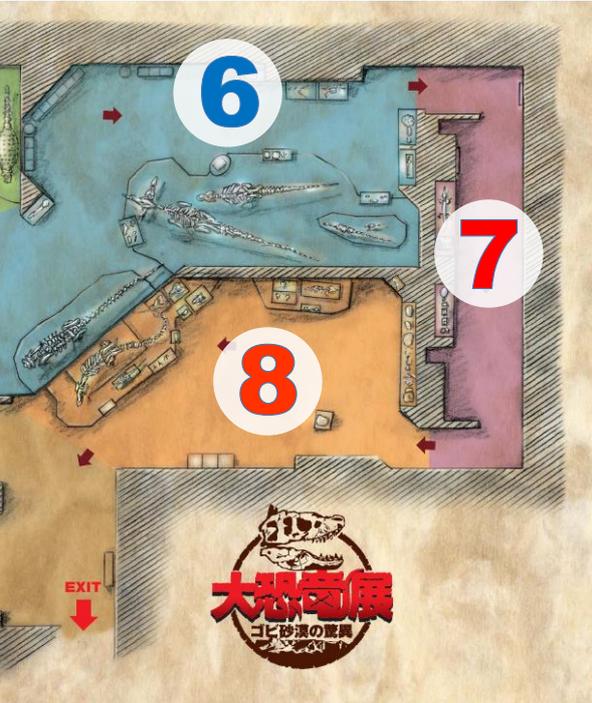


⑫ヴェロキラプトル



⑪ヴェロキラプトル 生体復元図

学名: *Velociraptor mongoliensis*



6

タルボサウルスとサウロロフスたちの時代 (白亜紀後期 約7000万年前)

タルボサウルスや、植物食恐竜のサウロロフス、オピストコエリカウディアなど、大型恐竜が登場する時代です。ゴビ砂漠の西に位置する「待ち伏せの崖」という意味の名で呼ばれる「ブギンツァフ」で発掘された大型恐竜の全身骨格が並びます。その大きさと迫力に触れてください。



⑭サウロロフス 生体復元図

⑬サウロロフス 全身骨格

学名: *Saurolophus angustirostris*

オピストコエリカウディア

7

大量絶滅の時代

カメ、ワニなどの爬虫類、哺乳類、鳥類など、大量絶滅を免れたものたちを紹介しながら、白亜紀末の大量絶滅を解説します。

8

恐竜研究室

恐竜のたまごのほか、プロトケラトプスの赤ちゃんとおとな、タルボサウルスの子どもとおとなの化石と一緒に展示し、成長による形態変化を解き明かします。



⑮タルボサウルス 頭骨



タルボサウルス(子ども) 頭骨

学名: *Tarbosaurus bataar*

■大恐竜展のキャラクターが登場



タルボサウルスの親子や、赤ちゃんのプロトケラトプスをイメージした展覧会キャラクターが登場。オリジナル商品になったりして活躍します。

■開催概要

名 称：	「大恐竜展ーゴビ砂漠の驚異」	
会 期：	2013年10月26日（土）～2014年2月23日（日）	
会 場：	国立科学博物館（東京・上野公園）	
開 館 時 間：	午前9時～午後5時 *金曜日は午後8時まで *特別開館延長 11月2日（土）・3（日）は午後8時まで 11月4日（月・休）は午後6時まで *入館は各閉館時刻の30分前まで	
休 館 日：	毎週月曜日（祝休日の場合は開館し、翌火曜日が休館。）12月28日（土）～1月1日（水・祝）。 ただし、12月24日（火）と1月6日（月）は開館。 *今後の諸情勢により、上記開館日、開館時間等について変更する場合がありますので、ホームページ等でご確認ください。	
主 催：	国立科学博物館、モンゴル科学アカデミー古生物学センター、読売新聞社	
後 援：	文部科学省、モンゴル国大使館	
協 賛：	三越伊勢丹、ダイワボウ情報システム	
特 別 協 力：	林原自然科学博物館	
入 場 料：	<p>◆ 一般・大学生：1,500円（1,300円）／小・中・高校生：600円（500円） *（ ）内は前売および各20名様以上の団体料金 ◆ プレミアム前売券（ピンバッジ2個付き）2,000円 * 限定1,000枚 *ローソンチケットでの取り扱い。 ◆ 金曜限定ペア得ナイト券 2,000円 2名様同時入場／男女問わず * 午後5時～午後8時／最終入場は午後7時30分 * 会場での当日販売のみ</p> <p>※ 常設展もご覧いただけます。 ※ 障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名様は無料。 ※ 前売券の販売は、10月25日（金）まで。</p>	
主なチケットの発売所：	ローソンチケット（Lコード=33335）、チケットぴあ（Pコード=988-426）ほか主要プレイガイド。	
公式オンラインチケット：	http://www.e-tix.jp/daikyoryu/	
お 問 合 せ：	03-5777-8600（ハローダイヤル）	
公 式 H P：	http://daikyoryu.com/	



イラスト：月本佳代美

©Paleontological Center of Mongolian Academy of Sciences

「大恐竜展ーゴビ砂漠の驚異」広報事務局行 FAX:03-3499-0958

画像(JPEG)はメールで送信いたします。

画像をご掲載の際には、下記クレジット表記、注意事項を順守いただけますよう、お願いいたします。

■ 画像使用に際してのご注意

- ・本展広報目的でのご使用に限ります。(本展会期終了まで)
そのため広報事務局より提供した展示物画像は、会期終了後、すみやかに廃棄してください。
- ・展覧会名、会期、会場名、展示物データは必ず掲載してください。
- ・展示物データについては、下記リストやプレスリリースの情報を参照ください。(一部他の印刷物と異なる場合がございます。)
- ・掲載情報は、展覧会基本情報、図版使用の確認のため、ゲラ刷り・原稿の段階で広報事務局まで、メールまたは、FAXでお送りいたしますようお願いいたします。また、掲載誌については、直接広報事務局へ1部お送りください。
- ・WEBサイトに掲載する場合は、原則としてコピーガードを施してください。
- ・再放送、転載など、2次使用をされる場合は、別途、申請してください。

■ 広報画像(ご希望の画像にチェックを入れてください。)

チェック欄	画像番号	ご掲載時の展示物データ表記
<input type="checkbox"/>	①	タルボサウルス 生体復元図
<input type="checkbox"/>	②	タルボサウルス 全身骨格
<input type="checkbox"/>	③	タルボサウルス(子ども) 頭骨
<input type="checkbox"/>	④	タルボサウルス(子ども) 生体復元図
<input type="checkbox"/>	⑤	プロトケラトプスの赤ちゃん 15体の集団化石
<input type="checkbox"/>	⑥	オピストコエリカウディア
<input type="checkbox"/>	⑦	プシッタコサウルス 生体復元図
<input type="checkbox"/>	⑧	プシッタコサウルス 全身骨格
<input type="checkbox"/>	⑨	ガルディミムス 生体復元図
<input type="checkbox"/>	⑩	ガルディミムス 全身骨格
<input type="checkbox"/>	⑪	ヴェロキラプトル 生体復元図
<input type="checkbox"/>	⑫	ヴェロキラプトル
<input type="checkbox"/>	⑬	サウロロフス 全身骨格
<input type="checkbox"/>	⑭	サウロロフス 生体復元図
<input type="checkbox"/>	⑮	タルボサウルス 頭骨

■ 貴媒体についてお知らせください。

貴社名:			
媒体名 (掲載コーナー、特集名):	()		
掲載・放映日時:	月 日 発売/放映 (時間:)	(号) / 発行部数	部
ご担当者名:	E-mail:		
連絡先:	電話:	FAX:	
チケット希望:	読者プレゼントとして5組10名分を		<input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない
チケット送付先:	〒		

報道関係の方からの本件に関するお問合せ先

大恐竜展ーゴビ砂漠の驚異 広報事務局(コース・プランニングセンター) 担当 池袋/高橋

TEL:03-6821-9100 FAX:03-3499-0958 E-mail:daikyoryu@ypcpr.com

〒150-8551 東京都渋谷区渋谷 1-3-9 東海堂渋谷ビル 3F